

令和6年度 事業報告書

特定非営利活動法人STAND ALIVE

1 事業の成果

<母子保健講習会事業>

2024年（令和6）度は、高い母子死亡率の改善を目的に、キスム郡のコゴニ準区において、団体設立時より行っている母子保健講習会を継続して実施した。講習会は、出産年齢（15歳～49歳）の女性住民を参加対象者とし、主に地域のCommunity Health Volunteer（CHV）たちが講師役を務める形で、毎週15ヵ村から17ヵ村で行われた。当該年度内における開催数は717回、参加者数は延べ7,937人となり、当団体が任意団体として設立された2022年3月から2025年3月末までの累計では、開催数2,379回、参加者数25,037人に上る。

講義内容は、栄養や感染症対策、疾病の種類、検診や予防接種をはじめとする妊娠・出産・育児に必要な保健衛生知識全般に加え、女性の精神保健に関する内容や、家庭菜園等の収入創出活動の促進にも及んでいる。

講義内容が多岐に渡るため、講習会では毎週異なるトピックが扱われており、多くの参加者が、内容が一巡するか、ある程度の範囲を受講するまで繰り返し参加することとなる。そのため、2022年3月からの延べ参加者数25,037人に対し、実数としての参加者は約800人程度と見られる。なお、コゴニ準区の出産年齢に該当する女性は約8,000人であることから、実数ベースの参加率は約1割となる。今後はこの割合のさらなる増加を目指す必要があるものの、参加者が得た知識を家族や周囲の住民に共有することにより、講習会は地域全体に対して十分な波及効果をもたらすことが期待される。

なお、本事業における当団体の現在の役割は、講習会のモニタリングと、CHVたちへの助言、バックアップなどが主になり、住民に対して、講習会への参加に対する見返りの金銭や物品の支給などは、特別な場合の牛乳等の配布を除き、行っていない。

Community Health Volunteers（CHV、地域保健ボランティア）

ケニアの採用する地域保健政策（Community Health Strategy）に基づき、選考され、地域保健のために従事する住民有志。日々、担当地域の家庭を巡回して、住民たちの健康状況の確認や、保健衛生に関する助言、保健省からの案内の伝達、病気や怪我に対する簡易的な応急処置などを行っている。

<調理実習事業> ※事業資金：（テルモ）医療貢献活動助成、自己資金

地域における乳幼児の慢性的な栄養不良問題に対し、近年の全国的な物価高騰がさらにその深刻化に

拍車をかけている現状を受け、当団体は問題解決を目的とした調理実習事業を 2024 年 1 月（2023 年度）より開始した。本事業は 2024 年度も継続して実施され、同年 12 月に終了した。

本事業の目的は、地域住民が手頃な価格で入手可能な食材を活用し、必要な栄養素を効率的に摂取できる調理方法を習得すること、延いては、乳幼児の栄養状態の改善を図ることにある。実習は、地域の保健医療関係者を講師として実施され、事業地内 13 ヶ所において、乳幼児を持つ女性住民計 391 名を対象に行われた。

調理実習で紹介された主な食材

炭水化物：

トウモロコシ粉(ウガリや粥に利用)、サツマイモ、米、カボチャ

タンパク質：

卵、豆類(インゲン豆、レンズ豆など)、小魚(シルバーフィッシュやダガーなど、カルシウム補給)、鶏肉(柔らかく調理して赤ちゃんに提供)

ビタミンやミネラルを含む野菜と果物：

ほうれん草やケール(鉄分やビタミン A を多く含む緑黄色野菜)、ニンジン(ビタミン A 源)、トマト(ビタミン C 源として)、バナナ(手軽でエネルギー源になる果物)、パパイアやマンゴー(ビタミン A やビタミン C が豊富)

脂質とエネルギー補給用食材：

ピーナッツバター、アボカド、植物油(サンフラワーオイルやオリーブオイル)

2025 年 1 月以降に行われた事後モニタリングや事業期間中の参加者の発言、地域保健局の報告などから、下記のような成果が確認、報告された。

住民の調理や栄養に関する知識の向上：

肉や野菜を柔らかくする調理法や、ジャガイモとサツマイモを組み合わせた栄養価の高い調理法を始め、調理実習で学んだことが多くの家庭で実践されている。

衛生面の改善：

手洗いや食材の管理を始めとする、衛生面での学びも同様に多くの家庭にて実践されていることが報告されており、今後、家庭内の衛生状態が改善し、食中毒や感染症のリスクが低減することが期待される。

波及性：

参加者たちが、家族や友人たちと一緒に調理をする中で、学んだ知識を共有している様子が確認されており、参加者以外の住民たちへも知識が共有されていることが確認された。

その他：

収入活動として家庭菜園を行っている母子保健講習会グループから野菜を購入し、それをきっかけに母子保健講習会にも参加するようになった参加者もいる。

※調理実習レポート※

https://drive.google.com/file/d/1zg31W2BrvAuLuzn8Z-2M0R7qES5m_7OP/view?usp=sharing

<エコサントイレ事業> ※事業資金：TOTO 水環境基金、自己資金

2024年4月1日から2025年3月31日までの間、コレラや腸チフスなどを始めとする水系感染症や、マラリア、下痢症などの蔓延するキスム郡コゴニ準区において、水衛生環境改善のための「水と衛生環境の保全のための環境衛生式トイレ普及事業」、略称「エコサントイレ事業」を実施。下記活動を行った。

- ・2024年5月6日から10日までの5日間に渡り、CHVおよび地域の保健医療従事者、計49名に対して、エコサントイレおよび水衛生に関する研修を実施。地域住民への啓発や助言を行うための下地を整えた。
- ・2024年9月から2025年3月にかけて、地域住民向けに（ピトラトリン・エコサン）トイレの清潔な使用方法などを含めた、水衛生に関する啓発講習会を行った。講習会は、計74回開催され、計855人の住民がこれに参加した。
- ・2024年4月から2024年3月にかけて、地域住民宅にエコサントイレ30基を建設した。建設に掛かった費用は合計で約190万円であり、そのうち約2割にあたる35万円ほどが住民負担となった。

※参考資料※

<https://drive.google.com/file/d/1W5j0qA3ukCR1PCRNWMhmGWCPyYx3o3Ri/view?usp=sharing>

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 4296 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)	
アフリカの途上国における、母子死亡率を改善するための事業	母子保健講習会事業	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日	ケニア共和国キスム郡コゴニ準区	3	キスム西準郡の女性を中心とした住民	7,937人	319	
	調理実習事業	2024年4月1日 ～ 2024年12月31日	ケニア共和国キスム郡コゴニ準区	3	キスム西準郡の女性を中心とした住民	391人	933	
	エコサントイレ事業	地域の水衛生環境改善を目的とした、水衛生に関する啓発活動	2024年9月 ～ 2025年3月	ケニア共和国キスム郡コゴニ準区	3	キスム西準郡の女性を中心とした住民	855人	3044
		地域の水衛生環境改善を目的とした、エコサントイレ建設活動	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日	ケニア共和国キスム郡コゴニ準区	3	キスム西準郡の住民	30世帯	

以上